

山梨西部広域環境組合ごみ処理施設基本設計報告書（案）に対するパブリックコメントの結果

パブリックコメントの結果（概要）

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 1. 意見募集期間 | 令和6年4月5日（金）から令和6年4月24日（水） |
| 2. 意見提出方法 | 電子メール、FAX、郵送、持参 |
| 3. 意見提出者 | 4名（電子メール1名、FAX1名、郵送2名） |
| 4. 意見総数 | 19件 |

山梨西部広域環境組合ごみ処理施設基本設計報告書（案）パブリックコメント実施結果

意見・質問	組合の考え方
<p>【1】 ○60年稼働</p> <p>・ごみ処理場として、新ごみ処理施設 30 年、次期ごみ処理施設 30 年の 60 年稼働は長すぎると思うが、ごみ処理施設 30 年を交互に建設することができ、永遠にこの地はごみ処理場と推測される。</p> <p>建設地の浅利地区の住民は納得しているのでしょうか。納得していたらこの点は如何なものかと思える。ましてや提案した方もどうかと思えるが。</p>	<p>新施設に集約予定の既存 3 施設は、新施設が稼働開始予定の令和 13 年度時点には、いずれも約 30 年同じ場所で稼働することとなりますが、他団体の事例を鑑みても 30 年という稼働期間は一般的な期間であると考えます。</p> <p>また、他団体では同一敷地内に次期ごみ処理施設を整備した事例もあることから、当組合でも 30 年稼働後に同一規模、同一条件の次期ごみ処理施設を新たに整備する配置・動線を仮定しております。</p> <p>なお、操業予定につきましては、地区説明会等で住民の皆様に説明させていただきます。</p>
<p>【2】 ○土地利用</p> <p>・6ha の広い平坦地な、しかも国道沿いであれば雇用や税収の増加、定住人口の増加など経済波及効果の高い土地利用とすべきであるが、ごみ処理施設もなくてはならない施設とすれば、周辺のこれからの若い世代やまた未来を担う人達のために、このごみ処理場のリスクに見合う新たな土地利用を周辺に考え、用意する必要がある。</p>	<p>施設周辺の新たな土地利用については、中央市が計画することでありますので、本組合からは回答を控えさせていただきます。</p>

<p>【3】</p> <p>○計画（開発）の形状と景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな、広範囲を一体的な計画地としての開発形状について、西側の出入りが激しく、しかも4mの盛土することは、境界のでこぼこが目立つことになり、その上に煙突を伴う高くて大きな建物が立地し、さらに目を引き際立ちます。盆地に1つだけの施設として恥ずかしく思います。 <p>中央市の地元の住民の方や、市川三郷町の高台に住む方々の皆さんはどう思っているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平坦な広い土地の中に、こつぜんと現れる盛土されたごみ処理場は、曾根丘陵の緑と対照的な違和感を感じさせるものとなるので、南側の丘の緑が平坦地に広がるような感じとなるよう、景観上またCO2削減のため、計画区域の周囲を森林でかこむべきである。 	<p>4mの盛土による浸水対策につきましては、地区説明会でも説明をさせていただきます。</p> <p>また、施設の周囲には、緑地帯を設けるなどの配慮を行います。</p>
<p>【4】</p> <p>○計画（開発）に伴う周辺道路整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画（開発）に伴って、新たにできる道路は南側の調整池沿いの幅員が一定ではない道路しか見当たらず、この道路が既存の周辺幹線道路と接続している。 <p>東側の既存道路は若干幅員が広がっているようだが、西側は農地境（自治体境）が計画地境となっており、これでは新たな開発としての計画地に隣接する土地の有効活用が見込めない。</p> <p>やはり広大な一体的開発区域の周囲は、車が対面通行できる道路を配置すべきである。</p> <p>隣接する土地の地権者、耕作者の皆さんはどう考えているのでしょうか。</p>	<p>本基本設計は、ごみ処理施設整備計画の検討及び工事発注に向けた前提条件や具体的な仕様条件、要求性能などを定めることを目的として策定するものであり、周辺道路の整備計画を定めるものではありませんので回答を控えさせていただきます。</p>

<p>【5】 ○意見・情報 (1) 本基本設計書には地元要望事項の記載がなく計画区域の道路水路計画や防災拠点、避難所計画があり地元浅利自治会の処理場建設に伴う地元要望事項について浅利地域と十分な話し合いが必要と考える。</p>	<p>本基本設計は、ごみ処理施設整備計画の検討及び工事発注に向けた前提条件や具体的な仕様条件、要求性能などを定めることを目的として策定するものであります。 地元要望事項につきましては、引き続き地元と協議を行ってまいります。</p>
<p>【6】 (2) 地元要望事項に関する地域振興金について物価高、材料費、人件費に伴い当初の見積額と解離があると思われませんが再度見積りし増額し詳細の開示、記載すべきではないか。</p>	<p>本基本設計は、ごみ処理施設整備計画の検討及び工事発注に向けた前提条件や具体的な仕様条件、要求性能などを定めることを目的として策定するものであります。 地元要望事項につきましては、引き続き地元と協議を行ってまいります。</p>
<p>【7】 (3) 計画区域内の整備について 一体的な計画区域の周囲は、区域内に隣接する土地の利用活用の付加価値向上を図るためにも普通乗用車が安全に対面通行でき高校生などの通学路としての確保及び歩道を考慮した 12.5メートル幅員の道路で囲うべきではないか。</p>	<p>本基本設計は、ごみ処理施設整備計画の検討及び工事発注に向けた前提条件や具体的な仕様条件、要求性能などを定めることを目的として策定するものであり、周辺道路の整備計画を定めるものではありませんので回答を控えさせていただきます。</p>
<p>【8】 §1 P4 第2節 基本条件 上から8行目 鉄やアルミ類など資源物を回収→18 ページ参照</p>	<p>鉄・アルミ・銅線につきましては、基本設計内にあるとおり本組合の所掌にて処理いたします。</p>
<p>【9】 §2 P4 第3節 計画期間 DBO 方式が決定している。しかし「身延町 下部湯の杜」「御殿場・小山」などはPFIのBTO方式を採用している。予算面と効果について再検証ねがいます。</p>	<p>令和3年度に作成した、PFI等導入可能性調査報告書にて、本事業に最適なものとして公設公営、PFI-BTO、DBOに絞り込みを行い、組合会議でDBOに決定しました。</p>

<p>【10】</p> <p>§3 P4 計画期間の20年間30年後、37年間とさらにP71の図15-2 災害廃棄物の処理可能量(余力)が稼働30年後には21,935t/年(290日間) =75.6t/日 詳しくは第5章P32の施設規模と炉数まとめにあるとのこと。P78~81より建物必要面積は120m×60m=7,200㎡それを30年~40年後までまず使い、その後古くなったので新たに第3期として7,200㎡の大きさの建物を作るとのこと。しかしP71で余力が75.6t/日発生しているのでそれほどの大きさは必要でない。</p>	<p>次期ごみ処理施設の規模につきましては、次期ごみ処理施設の基本設計等で再度検討いたします。</p>
<p>【11】</p> <p>P11 ごみ処理量の推移</p> <p>図3-2 既存3組合のごみ処理量</p> <p>この数値より毎年ごみ焼却処理量は減っています。このペースで減少すると、2031年(R13)稼働開始時は約70,000~65,000t/年(241~224t/日)でも良いこととなります。よって日当り最大焼却炉処理量の検証を改めておねがいします。</p> <p>参考に「山梨西部環境組合」がR6年3月公表した「ごみ処理施設整備事業環境影響評価準備書」のあらまし3ページによると約361t/日の処理となっています。</p> <p>これによるとR3年3月版の基本構想作成時も361t/日であるにもかかわらず今回のR6年4月版「基本設計報告書」では、274t/日[P29、32、58、71、75、90などにも記述されています。]</p>	<p>ごみ処理量の推移については、国や山梨県より示されている数値目標を考慮し、設定しております。</p> <p>また、基本設計の検討と並行して、環境影響評価準備書の作成を行いました。準備書の作成時、処理能力は基本構想の数値(361t/日)が最新であったことから、この数値を準備書に記載しました。</p>

【12】

P14 第4章 建設予定地の概況

下から5行目

(3) 建設予定地面積

約3ha（残りの3haは次期ごみ処理施設の建設予定地として使用する）

このことについては、R3年3月公表の基本構想。

R4年3月公表のごみ処理方式検討結果報告書。

R4年3月公表のPFI導入可能性調査報告書。

さらにはR3年11月版の環境影響評価方法書。

R6年3月公表の環境影響評価準備書。それぞれについての報告書においてこの2面分割の方法（3ha+3ha=6ha）については記述がありません。

よって突然わいた急すぎる計画となります。

反面このような「めいわく施設」と呼ばれる施設については用地の先行取得は将来に渡っての安定的な用地の確保の方法である 一手法としては理解できます。

しかし約30～40年後の社会情勢、経済、人口、ごみ出し量など不明点が多いので、もっと「施設のコンパクト化」が進み、約3haの用地でなくもっと小さな面積でも可能となりうると推察されます。

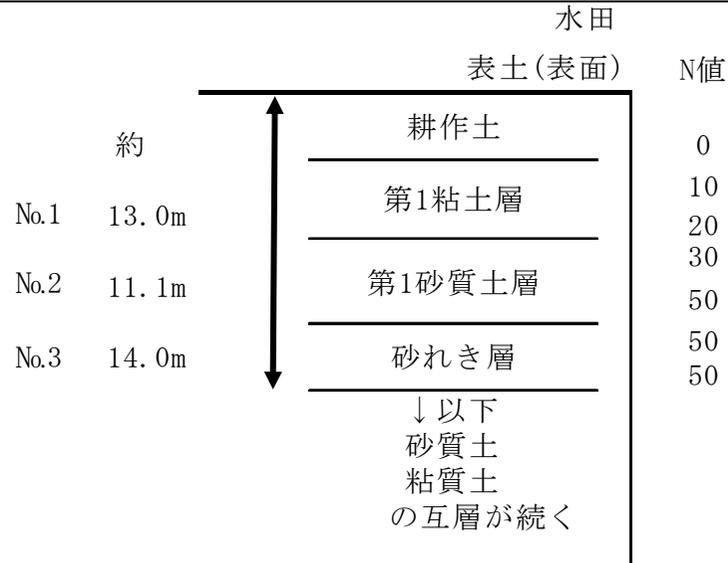
次期ごみ処理施設の規模については、次期ごみ処理施設の基本設計等で再度検討いたします。

現段階においては、配置・動線計画を策定するにあたり、ごみ処理施設を稼働させながら次期ごみ処理施設の建設を行うことを前提に、同一規模、同一条件の次期ごみ処理施設を建設予定地内に整備することを仮定しました。

意見・質問

【13】

P15 5.地質 図4-2 建設地点の地質状況



一般的には
N値50が3m (3回以上)
続くと支持地盤となりえる。
しかし表面から約13m内外まで
笛吹川の河床堆積物、特に粘性土が見
られます。よって今後約4mの盛土によ
り圧密沈下を受け地盤沈下の発生がけ
念されます。

本来なら、その沈下を防ぐためにプレロードを5年～10年加え、地下の粘土層の圧密沈下を予測し除去することがベストの工法となります。しかし今回はP128 図22-2 新ごみ処理施設の整備に係わる工事工程よりR7、8年度 盛土、造成工事 R9、10年度 建築工事 R10、11年度 機械・電気工事と急ピッチな工事工程となっている。そのため完成後の建築物の傾き、ヒビ割れなどの現象の発生はいなめません。

組合の考え方

盛土による地盤沈下及びその対策については、造成設計で検討します。
建築物の傾き等については、事業者により施設詳細設計で検討します。

意見・質問	組合の考え方
<p>【14】</p> <p>P16 第2節 建設予定地周辺設備の現状</p> <p>1. 用水</p> <p>(2) 地下水、R4年度地下水調査を行った。深さ90m地点からくみ上げ可能。1,500ℓ/分、2,160 m³/日</p> <p>しかし、水道法水質基準値超えは鉄、マンガン、色度の3項目が不満足とのこと。</p> <p>またP33建設予定地の条件 P60 第6節 排水処理方法の選定から今回深さ90m地点から地下水をくみ上げ、プラント用水であれば利用可と判断し、処理後使用する計画です。</p> <p>また、その量は104 m³/日（≒0.07ℓ毎分）とする（P60より）また使用後の排水は下水道へ放流予定である。</p> <p>よって、深さ90mからポンプ揚水するとはいえ長期に渡る揚水により、地下水位の下降とそれによる地盤沈下の誘発はさげられない。</p>	<p>地下水位の低下については、施設稼働後に実施する環境影響評価の事後調査でモニタリングを行い、著しい低下がないことを確認します。</p> <p>モニタリングの結果、地下水位の低下がみられた場合には、原因を調査し、対策を講じます。</p>

【15】

P49 第11章 災害対策

表 11-1 建設予定地や整備予定施設の概要

中央市浅利 230 番 3 他

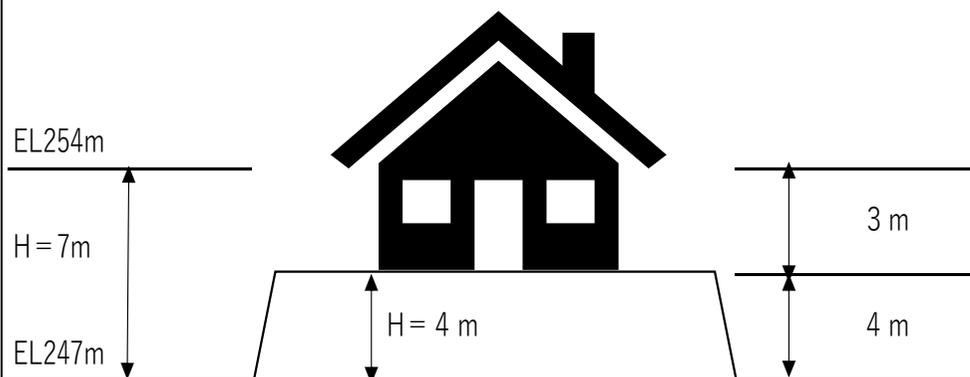
A=約 6ha

最大水深 7m 程度（笛吹川決壊時）

P50 4. 浸水対策方法の抽出

A 案 100%現況地盤高さを+7m まで盛土する。

C 案 建築、建築設備対策案



1 階部分のみ約 3m まで止水機能を有する。

建具（止水シャッター、止水扉など）使用する。

下から 6 行目、今回ここでは当面 I 期工事分（新ゴミ処理施設の範囲（約 3ha）に限定する。

第 II 期工事で建物の移設（新設）に合わせて盛土工事 H=4m まで（EL251m）盛土を追加する。

山梨県内の建設発生土等を含め、広く情報を提示し確保する予定です。

(続き)

P52 表 11-3 新ごみ処理施設に望ましいと考える浸水対策案
評価らん

◎施工上のけん案事項

土砂の確保が可能か。

建設予定地全面に+7m のかさ上げ工事を行う場合に比べて土量が半分に抑えられる。

◎整備費（浸水対策として）約 10 億円必要

上記のことについて詳細検討を次のように行った。

ケース 1

1. 敷地面積 16,887 m²

2. 建物面積 3,728 m²

3. 新規盛土高さ 平均 4m

よって新規盛土量 $16,887 \text{ m}^2 \times 4\text{m} = 67,548 \text{ m}^3 \approx 68,000 \text{ m}^3$

ケース 2

1. 面積 A=15,074 m²

2. 建物面積 A=不明(未知)

3. 盛土について A=5,980 m² 最高高さ約 10m

4. 全体盛土量 $5,980 \times 10 \approx 60,000 \text{ m}^3 \rightarrow$ 約 8 万 m³

よって当ごみ処理場にあてはめると

A=3ha=30,000 m²

H=4m

V=30,000×4

=120,000 m³

<p>(続き)</p> <p>この 12 万 m³の土砂(良質土：悪質土ではない、土砂)例へばへドロ混り、粘土質、大玉石(Φ20 cm以上)を除いた土木基準に合致した良質土の確保が問題となる。</p> <p>よってどこから入手するのかどのようにするのか明示されたい。</p>	
<p>【16】</p> <p>P129 第23章 財源計画</p> <p>1. 循環型社会形成交付金の活用が図れるが、しかし実際には地元負担金は当然発生する。</p> <p>そのため地方債や、一般財源を必要とするが、その大きさは明示されていない。はたして何十億、何百億円の予算が必要なのか明解に示されたい。なお、私なりの試算によると、約 337 億円(当初建設費など含む)そしてさらに維持費 20 年間を含むと 576 億円(税抜き)と多大な予算、費用がかかることとなる。</p> <p>よって今計画のコンパクト化、合理化、省力化の検討、見直しを強く要望するものです。</p>	<p>明確な財源計画は今後決定するため、現段階において明示することは適当ではないと考えます。</p> <p>本計画については、様々な要素を踏まえ検討し、取りまとめを行った結果となっております。</p>

【17】

まとめ（復習）

§1 P18 鉄、アルミ、銅線など都市鉱山を含む高度な資源は運搬業者や、委託処分業者に 100%まかせるのではなく有価資源としてはっきり西部広域環境組合（5市6町）で管理し収入源とされたい。

§2 P4 DBO方式とPFIのBTO方式の差異特長

DBO方式に決まったとのことだが、再度（身延町 下部湯の杜サンロード 運営母体）

御殿場・小山のごみ処理場

§3 P4 計画期間→P32表5-20より

P71 図15-2 余力 $137 \times 2 \text{ 炉} = 274\text{t/日}$

余力が R42年度 21,935t/年 R13年度は $5,742 \div 290 \text{ 日}$
 $\div 290 \text{ 日} = 75.6\text{t/日 過大}$ $\approx 20\text{t/日 過大}$

つまり全体の処理量 274t/日は過剰な計算値である。

今後人口が高齢化によりゴミその物が排出される量は年々減少するものであり、第2回目の建設は、過剰投資は省く必要がある。

意見・質問【8】【9】【10】に対する回答で、当組合の考え方を示させていただきました。

【18】

(1) 耐震対策に係る活断層の評価及び対策について

予定地近辺には、曾根丘陵断層帯があり、政府の地震本部によれば、一度に活動した場合マグニチュード 7.3 程度の地震が想定されるが、本基本設計書には、活断層に関する対策等が記述されていない。

近年の RC 造基礎などは耐震性が高いと言われているが、基本的には現行の耐震設計は、地殻変動は想定していない。

「第 4 章・第 1 節建設予定地の現状・5 地質」の地質調査に関する記述を見ても、活断層の評価はなく、また、活断層の評価が行われたのか不明である。特に、予定地は液状化の危険がある地域で、活断層と液状化が同時に発生する可能性が高く、その場合、建物の耐震性や地盤の安定性に対するリスクは増加する。

活断層対策を踏まえた耐震対策になっているものと思料するが、住民、利用者の不安に応えるため新たに「項目」を立て、活断層の評価と対策等について明記すべきと考える。

曾根丘陵断層帯を震源とする単体地震を想定した検討は行っていませんが、本基本設計では、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」や「火力発電所の耐震設計規程」などを参考に、インフラ施設である廃棄物処理施設の耐震性能を決定しています。そのため、本基本設計で定める耐震基準であれば、大きな損壊や甚大な被害は生じないものと考えています。

また、液状化対策については、造成設計で検討します。

【19】

(2) 進捗状況についての情報提供について

私が住まいする自治会は、貴組合を構成する中巨摩地区広域行政組合と協定書を締結し、同組合が運営する清掃センターを平成43年度(2031年度)までに移転する旨を協定している。基本構想及び今回の基本設計においても、稼働目標年度を令和13年度(2031年度)としており、当該協定書の移転年度2031年度との間の整合が図られている。

計画通りの進展を期待するものであるが、残すところ7年余りである。工程表通り進捗しているか、逐次、情報提供をお願いする。

進捗状況等につきましては、中巨摩地区広域事務組合を通して、情報提供させていただきます。